

神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年10月5日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第39週 2016年 9月 26日 ~

2016年 10月 2日

インフルエンザ

設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	1		1					1		3		1		1													1			

小児科

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	6				2	1	2	4	15	30	1	5	15	5		4								
咽頭結膜熱	3	4			1		1	4	2	15			2	2	3	3	1	1	1	1	1			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	1			1	3	4	8	11	31			1		1	5	6	6	1	1	3	4	1	2
感染性胃腸炎	11	5	8	8	24	3	19	50	9	137	5	12	16	9	10	12	7	8	9	6	7	13	8	15
水痘		1			1	1	4	3		10			2			2	3			2		1		
手足口病	5	1					1	3	1	11		2	1	3	2	2	1							
伝染性紅斑	2	1					1			4						1	1	1		1				
突発性発疹	3		2		1	1	2		4	13		5	7				1							
百日咳									1	1												1		
ヘルパンギーナ	6					1	1	1	2	11		2	1		3	2	2					1		
流行性耳下腺炎	21	1	4	2	5	10	9	6	6	64			2	4	5	5	6	13	8	6	3	9		3

神戸市のマイコプラズマ肺炎患者が増加傾向にあります。患者の約80%は14歳以下ですが、成人の報告もあります。患者の咳のしぶきを吸い込んだりすることで感染します。家庭内や学校内で感染する傾向が強いです。潜伏期間は比較的長く2～3週間で、発熱や全身倦怠感、頭痛、痰を伴わない咳などの症状がみられます。咳は熱が下がった後も3～4週間続くのが特徴です。多くの人は気管支炎ですみ、軽症ですが、一部の人は肺炎となり重症化することがあります。当疾患に有効な抗菌薬があり、重症化や周囲への感染を防止するためには、医療機関の早期受診が重要です。

眼科

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎	1								1	2										1				1					

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

東灘区○マイコプラズマ感染症2例:5～9歳男(6101)  
東灘区○アデノウイルス感染症1例:年齢・性別不詳(6101)  
灘 区○マイコプラズマ感染症1例:10代女(6202)  
中央区○マイコプラズマ感染症2例:0～4歳女、5～9歳男(6301)  
中央区○アデノウイルス感染症1例:0～4歳女(6301)  
北 区○マイコプラズマ感染症4例:0～4歳男、5～9歳男女(6505)  
北 区○病原性大腸菌感染症1例:0～4歳男(6505)  
垂水区○病原性大腸菌感染症1例1例:性別・年齢不詳(6804)  
垂水区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:性別・年齢不詳(6804)  
垂水区○マイコプラズマ感染症1例:性別・年齢不詳(6804)  
西 区○サルモネラ腸炎:5～9歳男(6901)  
西 区○アデノウイルス感染症1例:0～4歳男(6902)  
西 区○マイコプラズマ感染症1例:5～9歳女(6902)  
西 区○アデノウイルス感染症2例:年齢・性別不詳(6903)  
西 区○カンピロバクター腸炎2例:年齢・性別不詳(6903)  
西 区○百日咳(予防接種1期3回接種済、追加未接種)1例:10代(6903)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は11人(うち潜在性結核感染症2人)です。

【市内の感染症の状況】

**B型肝炎の予防接種は平成28年10月1日より定期予防接種となりました。**  
**定期接種の対象者は平成28年4月1日以降に生まれた0歳の方で、**  
**接種料金は無料です。詳細は神戸市ホームページでご確認ください。**

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

# 神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2016年10月5日 作成

## 全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	0～5歳	2016年9月29日	2016年10月3日	2016年10月3日	O157 (VT2)	便培養法	発熱 水様性下痢	不明	

## 全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 レジオネラ症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	60代	2016年9月29日	2016年9月30日	2016年9月30日	肺炎型	尿中病原体抗原の検出 (イムノクロマト法)	発熱・咳嗽 肺炎	不明	
男	50代	2016年9月30日	2016年9月30日	2016年9月30日	肺炎型	尿中病原体抗原の検出 (イムノクロマト法)	発熱・肺炎 全身倦怠感	不明	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2016年9月頃	2016年9月16日	2016年9月20日	/	血液培養法	ショック・肝不全 軟部組織炎・DIC	不明	
男	50代	2016年10月1日	2016年10月1日	2016年10月3日	/	血液培養法	ショック・腎不全 急性呼吸窮迫症候群 DIC・中枢神経症状	創傷感染 (右大腿水泡)	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	70代	2016年9月20日	2016年9月20日	2016年9月26日	/	腹水培養 薬剤耐性の確認	腹膜炎	その他 (縫合不全による 消化液の腹腔内漏 出による)	

## 神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
コクサッキーウイルスA10型	咽頭ぬぐい液	東灘	1歳2ヶ月女児(9/8採取、38.3℃、手足口病)
	咽頭ぬぐい液	中央	9歳6ヶ月女児(9/12採取、39.5℃、ヘルパンギーナ)
コクサッキーウイルスA16型	咽頭ぬぐい液	中央	1歳11ヶ月男児(9/13採取、39.0℃、ヘルパンギーナ)
エンテロウイルス71型	咽頭ぬぐい液	垂水	2歳7ヶ月女児(9/12採取、手足口病)
ムンプスウイルス	唾液	兵庫	4歳女児(9/12採取、流行性耳下腺炎)
A型肝炎ウイルス	便	北	58歳女性(9/27採取、A型肝炎)

定ポイントあたりの患者数(人)

(警報水準)

(終息水準)

12/13 year

16/17 year

13/14 year

15/16 year

14/15 year

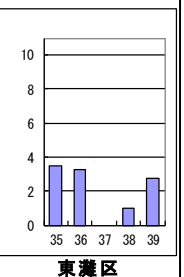
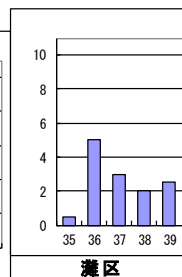
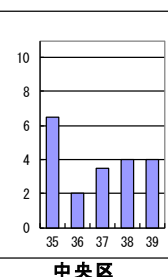
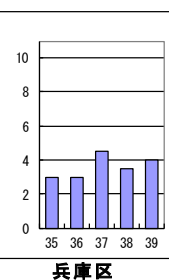
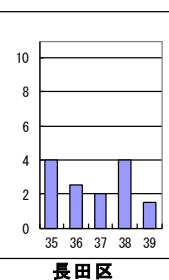
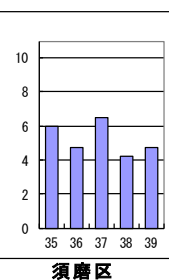
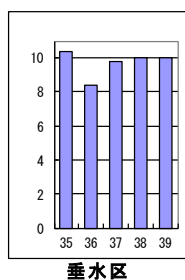
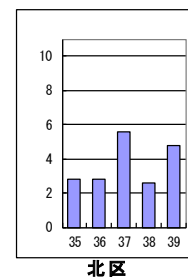
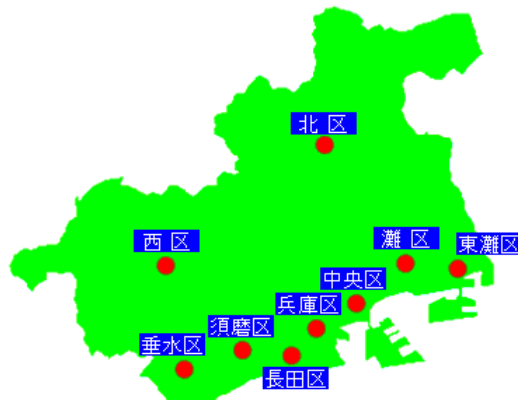
27 29 31 33 35 37 39 41 43 45 47 49 51 1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 (週)

7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月

—●— 2012/13 year —●— 2013/14 year —●— 2014/15 year —●— 2015/16 year —●— 2016/17 year

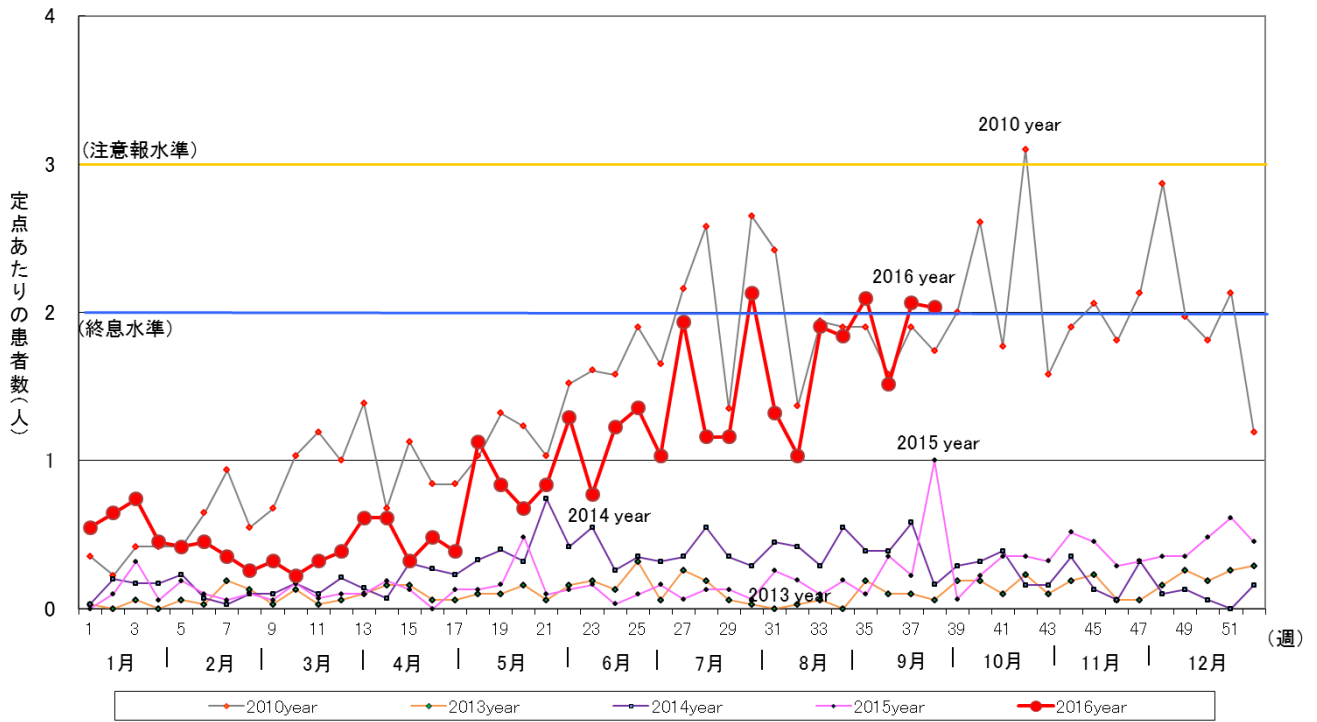
第 39 週 平成28年10月2日

Age Group	Number of People
35	4.5
36	4.5
37	1.5
38	3.0
39	2.0



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

# 定点あたりの流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)報告数



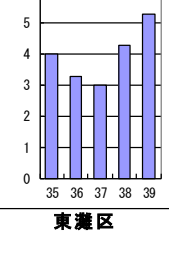
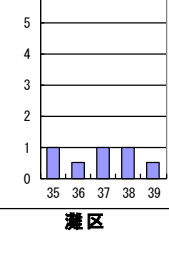
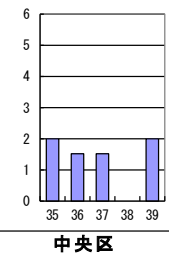
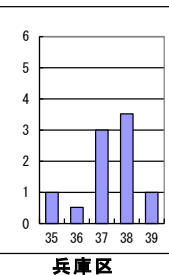
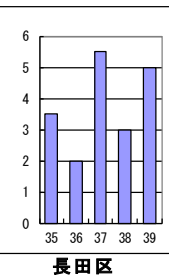
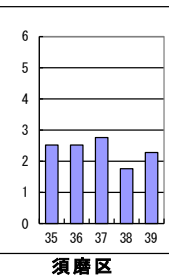
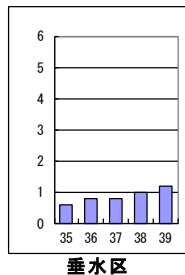
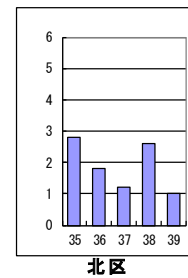
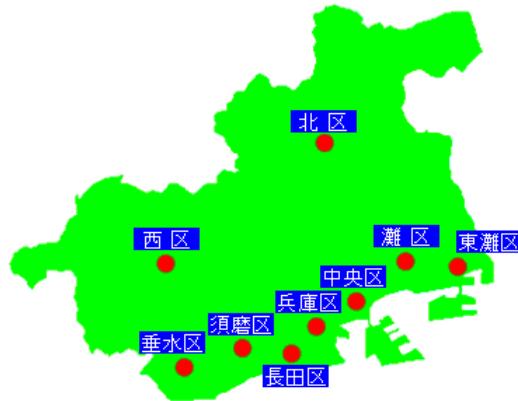
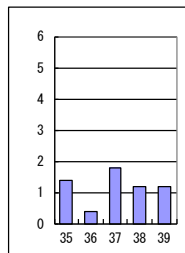
## 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 35 週 平成28年8月29日

～

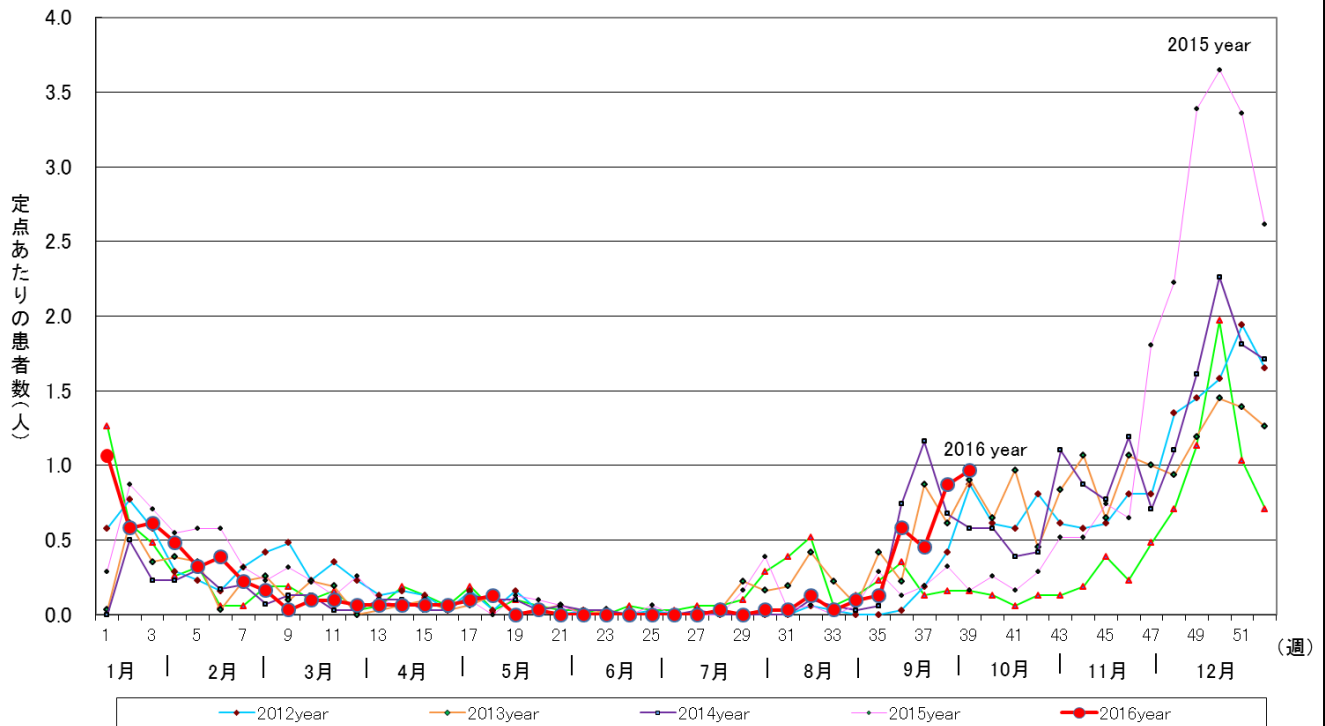
第 39 週 平成28年10月2日

### 流行性耳下腺炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりのRSウイルス感染症報告数



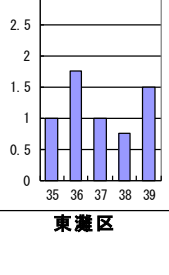
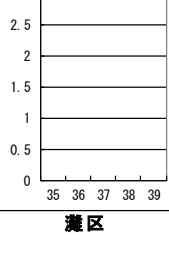
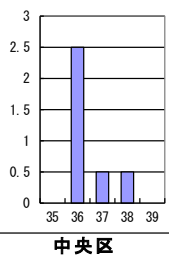
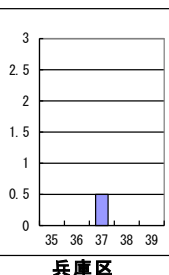
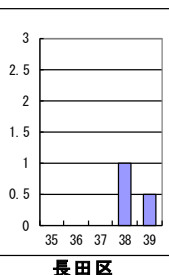
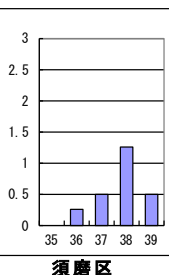
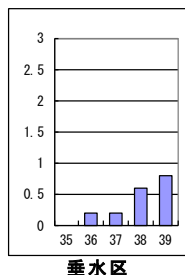
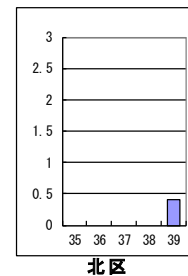
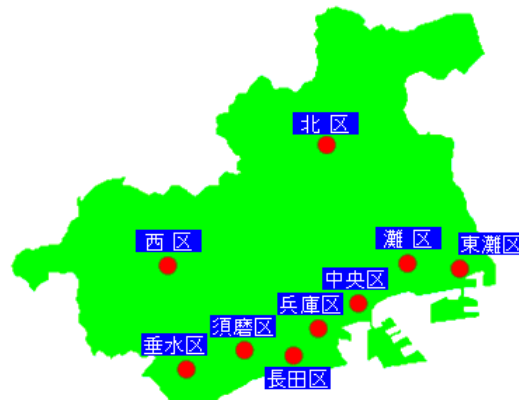
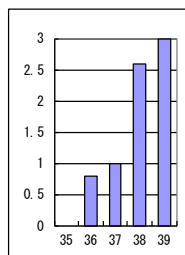
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 35 週 平成28年8月29日

～

第 39 週 平成28年10月2日

RSウイルス感染症



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。